

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立南川副小学校	児童数 2 1 1 人
-----	------------	-------------

I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	読書の幅を広げ、お気に入りの本を見つけよう。
	取組期間	令和6年(2024年) 4月15日 ~ 令和6年(2024年) 6年11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評 価	取組人数	2 1 1 人	実施日数	2 3 0 日	読書冊数	32,727 冊	連携した団体数	3 団体
	取組内容 (概要)	<p>「誰もが足を運びたいくなるような図書室」を合言葉に、繰り返し足を運ぶことで本を身近に感じ、様々な本を手にする機会を増やしていくことを目指して様々な読書活動を行ってきた。</p> <p>1. 誰もが足を運びたいくなるような図書室づくり・・・①校内環境の整備、②「南っ子バルーン」と「プラス券」の発行、「達成記念品」プレゼント</p> <p>2. 図書室の主な活動・・・①図書の時間での新しい本の紹介、関連図書の紹介、②分類チャレンジ、③南っ子チャレンジブックの選定&レベルアップ</p> <p>3. 学習支援・・・①公共図書館や市内の中学校の図書館の本の活用（授業に関する資料の収集や児童の読みたい本の収集）</p> <p>4. 図書委員の主な活動・・・①常時活動の工夫、②年2回の図書館祭り</p>						
	工夫したこと	<p>1-①校内環境の整備：毎月変わる月コーナー（10月には、新米とかけて「あなたはパン派？ご飯派？）、SDGsに関するコーナー、読書感想文紹介コーナー（青少年読書感想文の県特選に入った児童の作品と本の紹介コーナー）、先生のおすすめ本コーナーなど、様々なコーナーを設置し、次はどんなコーナーができるのだろうと、児童も職員も楽しみにしている。また、各学年の掲示板には「読書の木」があり、児童のおすすめの本を一人一人が紹介し、その本を読んだ児童は「読んだよシール」を貼ってお互いのお気に入りの本を読む取り組みを行っている。</p> <p>1-②「南っ子バルーン」とプラス券の発行、達成記念品のプレゼント：50冊達成で名前入りのバルーンを掲示している。また、プラス券は50冊・150冊達成時や図書館祭りのイベント時に景品として渡している。達成記念品は100冊達成時に「オリジナルしおり」、200冊達成時に「プラス券ケース」、250冊達成時に「犬・猫マグネットしおり」、300冊達成時に「メモ帳」をプレゼントしている。</p> <p>2-①新しい本の紹介、関連図書の紹介：毎週の図書の時間には、司書による新しい本の紹介や授業で取り扱った同じ作者の本の紹介がある。児童の実態に応じた本を冒頭で紹介することで、児童の借りてみたいという思いを引き出すことができています。</p>						

	<p>また、9分類の本のレベルアップを図るために、まずは見開きで話が完結する本から始まり、話が3～5ページで完結する本、短編が集まっている本へとレベルアップできるよう、児童の実態に応じて紹介している。</p> <p>2-②「分類チャレンジ」: 特に3年生の児童を中心に取り組まれていることの一つに「分類チャレンジ」がある。3年生で日本十進分類法を学習した後、「今日は〇類にチャレンジしてみよう。」というお題を児童に出し、例えば7類でも70:芸術・美術、71:彫刻など一つの分類の中にも細かく分かれていることを表で確認できるように掲示している。この「分類チャレンジ」を通して、少しずつその分類でのお気に入りを見つけることができるようになってきている。</p> <p>2-③南っ子チャレンジブックの選定&レベルアップ: 今年度から教科書が改訂されたことを受け、必読書である「南っ子チャレンジブック」の見直しを行ってきた。新しく教科書に掲載されているおすすめの本を可能な限り取り入れ、より児童に寄り添った本の選書を行っている。この「南っ子チャレンジブック」30冊を読んだ児童も図書館だよりで紹介するなど、児童が読む意欲を高める取り組みもしている。また、低学年を中心に「南っ子チャレンジブック」を30冊で終わらせず、No.2を作成し、児童の読んでみたいという思いを大事にしている。</p> <p>3-①国語科で授業の資料として使いたい本を公共の図書館から借りたり、佐賀市内の中学校からも5・6年生向けの本を貸出してもらったりするなど、佐賀市独自のネットワークをフル活用して、資料を提供している。また、予算が限られている中で新しい本を購入するため、なかなか児童の思いを全て叶えることができない。そこで児童のこんな本が読みたいに答えるべく、すぐに検索し、可能な限り貸出を行っている。</p> <p>4-①常時活動の工夫: 南川副小学校では借りた本は返却ラックへ置くスタイルをとっている。そのため、本を戻す仕事を図書委員の児童が担っている。また、「my本棚」を導入し、整理整頓をする際は、「my本棚」を中心に取り組んでいる。</p> <p>4-②年2回の図書館祭り: 図書委員を中心に「宝探し」「本のあらすじクイズ」「シルエットクイズ」「名無し本あてクイズ」「読書ビンゴ」「冊数くじ引き」「宝探し」「塗り絵コンテスト」「しおりコンテスト」などを行った。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>「誰もが足を運びたくなるような図書室」を合言葉に様々な取り組みを行ってきた結果、まずは昨年度の26,570冊を現時点で上回っていることが結果として見えてきた。ただ一概に、「貸出冊数が伸びた」=「読書の幅が広がった」とは言い難いが、絵本や9類を中心に自分のおすすめの本を紹介したり、4類の自然科学や7類の芸術・スポーツを手にとって読んだりしている児童も多くみられる。また、様々なコーナーを随時作っているため、様々な分野の本を手に入る機会も増えてきた。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校へ行こう: アニメ版やライトノベル、映画化された小説などを中学校から借りることで、中学校の図書室にはこんな本があるという安心感を与える取り組みを行う。 ・卒業する君たちへ: 職員から卒業する6年生に読んでもらいたいおすすめの本を紹介するコーナーを設置する。

佐賀市立南川副小学校の取組

1. 誰もが足を運びたくなるような図書室づくり

①校内環境



SDGs と先生のおすすめの本コーナー



佐賀市特選の児童の読書感想文とその本



10月の「あなたはパン派？ご飯派？」コーナー

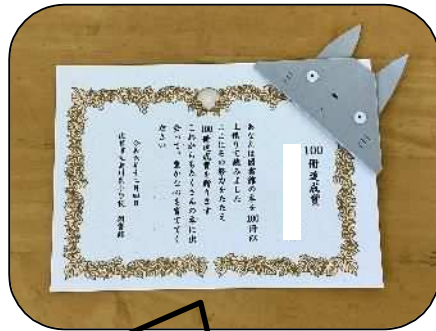


各学年の読書の木：児童一人一人のおすすめの本の紹介

②「南っ子バルーン」、プラス券&達成記念プレゼント



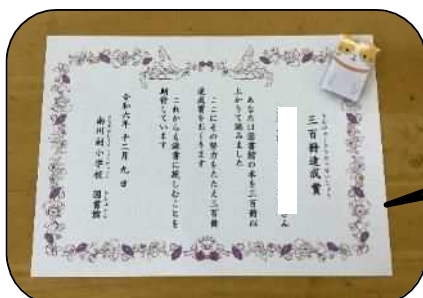
50冊達成するとバルーンを飛ばせる



100冊達成時のしおり



200冊達成時のパス券ケース



250冊達成時の犬・猫
マグネットしおり

300冊達成時のメモ帳



2. 図書室の主な活動

①新しい本の紹介・関連図書の紹介



教科書で学習した同じ作家の本

新刊コーナー



見開きから3~5ページ
ショートストーリーへ



②分類チャレンジ



分類チャレンジ

③南っ子チャレンジブックの選定&レベルアップ



南っ子チャレンジブック本棚

チャレンジブックを借りて
スタンプを押してもらおう。
No.2にも挑戦。



3. 学習支援



市立図書館や町の図書館などで学習資料や児童の読みたい本を借りて貸し出す

4. 図書委員の主な活動

① 常時活動の工夫



返却ラックの整理



my本棚を整理する児童



困っている児童にも優しく接する

② 年2回の図書館祭り



冊数くじ引き
大繁盛！！

カウンター業も
頑張りました！！

